

ニュースで見る会計キーワード

[] 内は本書の関連ページ

営業利益	本業の営業で稼ぎ出した利益の金額のこと。本業の業績を示す。[38 頁]
営業損失	本業の営業で出した損失の金額のこと。本業の業績を示す。[39 頁]
営業損益	営業利益と営業損失をまとめた用語。数字がプラスならば営業利益，マイナスならば営業損失。[40 頁]
最終利益	本業とそれ以外の活動をあわせた企業活動全体から生じた利益の金額のこと。企業の業績を示す。[43 頁] 正式名称は，「親会社株主に帰属する当期純利益」。
最終損失	本業とそれ以外の活動をあわせた企業活動全体から生じた損失の金額のこと。企業の業績を示す。[43 頁] 正式名称は，「親会社株主に帰属する当期純損失」。
最終損益	最終利益と最終損失をまとめた用語。数字がプラスならば最終利益，マイナスならば最終損失。[43 頁]
純利益	「親会社株主に帰属する当期純利益」のこと。最終利益のこと。[38 頁]
純損失	「親会社株主に帰属する当期純損失」のこと。最終損失のこと。[39 頁]
純損益	純利益と純損失をまとめた用語。数字がプラスならば純利益，マイナスならば純損失。[40 頁]
黒字	営業損益，最終損益，純損益などの損益が，プラスすなわち利益であること。
赤字	営業損益，最終損益，純損益などの損益が，マイナスすなわち損失であること。
増益	営業利益や最終利益が，過去の金額と比べて，増加すること。業績が向上したことを意味する。 たとえば，営業利益の増益を営業増益，最終利益の増益を最終増益，と表記する報道記事がある。
減益	営業利益や最終利益が，過去の金額と比べて，減少すること。業績が悪化したことを意味する。 たとえば，営業利益の減益を営業減益，最終利益の減益を最終減益，と表記する報道記事がある。
連結	連結とは，企業集団全体のことを意味している。企業集団全体に関する財務諸表を連結財務諸表という。連結財務諸表は，親会社・子会社の個別の財務諸表を合算（連結）して作成されるので，この名称となる。[3 頁] 企業集団全体に関して，連結売上高，連結最終損益，連結黒字，連結赤字，連結最終赤字，連結決算，連結業績予想，連結最終利益は増益，連結経常損益は黒字，というように，この表の用語を組み合わせて使われる。企業集団全体での決算を，連結決算という。企業集団全体の業績を，連結業績といたりする。
決算	決算とは，期間の期末で，会計数値を確定することを意味する。例えば，売上や利益の金額が確定する。決算日の日付で，財務諸表が作成される。利益の数字が良い場合は，好決算といたりする。[106 頁]
損失額	会社が損をした金額。文脈によって，意味が変わるが，最終損益に関してならば，最終損失の金額のこと。あるいは固定資産の売却損の金額といった，個別の項目の損失金額をさす。[39 頁]
売上高	本業において製品・商品・サービスを顧客に販売した金額の合計金額 [38 頁, 44 頁]
資本金	株式会社が株式を発行し，それを取得する株主が出資という形で現金を払い込んだ金額のうち，会社が，資本金と設定した金額。[26 頁]
債務超過	負債総額が資産総額を上回っている状態のこと。企業の経営状況が非常に悪いことを意味する。[32 頁]
負債総額	企業が負っている負債の合計金額。お金で返済が必要な債務の総額と理解してもよい。[15 頁]
自己資本	資産総額と負債総額の差額を純資産というが，純資産の金額もしくは純資産の特定の科目の合計金額のことを自己資本という。自己資本は負債と異なり返済する必要のない企業自体の自己の資本という意味。[211 頁]
留保利益	利益剰余金のこと。企業が過去に計上した純利益のうち配当等で処分せず，企業内に蓄積してある金額。国会などで政治家が，企業の留保利益，と言及することが多い。[26 頁]
経常利益	営業利益に営業外収益・費用を加減した金額のことで，プラスの場合。企業の経常的な利益。[38 頁]
経常損益	経常利益と経常損失をまとめた用語。数字がプラスならば経常利益，マイナスならば経常損失。[40 頁]

10～12月期決算	上場企業は年4回の四半期決算を行うが、10月から12月までの3か月間の間の期間の決算のこと。
四半期決算	1年を年4回に分けた四半期において、それぞれの四半期期末で行われる決算のこと。[101 頁]
第3四半期	1年を年4回に分けた四半期の3番目の四半期のこと。3月末決算ならば第3四半期は10～12月。[101 頁]
2017年3月期	3月末が年度末・決算日の企業の、2016年4月1日から2017年3月31日の期間の通期決算のこと。[38 頁]
通期決算 年度決算	年4回の四半期決算の累計としての1年間（通期）の決算。1年間の売上や利益の金額（業績）が確定する。
通期	1年間全体の会計期間のこと。
前年同期	四半期決算の1つの四半期について、今年と去年を比べる場合の、去年の同じ四半期のこと。
特損（とくそん）	特別損失の略称。正式名称ではない。
特別損失	損益計算書の特別損益の部に計上される損失。災害損失、固定資産売却損などの臨時的に生じる損失のこと。 [38 頁, 48 頁]
減損	固定資産の計上金額を、その実際の価値評価額に合わせて減額すること。これを減損会計という。[149 頁]
減損損失	固定資産について、減損を計上することによる損失の金額。特別損失の1つ。[149 頁]
引当金	発生が予想される将来の事象に関する、確実またはほぼ確実な将来の支出（資産減少）の金額を貸借対照表に負債計上した金額。[25 頁]
〇〇引当金繰入	引当金を計上するために、当期に費用として計上した金額。これにより当期の利益は減少する。[45 頁]
繰延税金資産	支払いが確定した法人税等の金額のうち、会計上、法人税等の前払いに相当する金額を、貸借対照表に資産計上した金額。企業の業績や経営環境が悪化して、将来、企業が獲得する利益金額が減少すると予想される場合に、繰延税金資産の金額に対応する利益金額を超える利益を上げることができないと予想される場合（これを、繰延税金資産の回収可能性がない、という。）は、貸借対照表に資産計上されている繰延税金資産を取り崩す必要があり、その場合、当期純利益が減少する。業績が悪化した企業は、業績悪化による利益の減少と、繰延税金資産の取り崩しによる利益の減少の2重の利益減少が生じる場合がある。[20 頁, 22 頁]
為替差益	ドルなどの外貨の形の債権債務を決算日の為替レートで換算替えした時の円換算額変化による収益など。 円高・円安などの為替レートの変動によって生じる収益。[46 頁]
為替差損	ドルなどの外貨の形の債権債務を決算日の為替レートで換算替えした時の円換算額変化による費用など。 円高・円安などの為替レートの変動によって生じる費用。[47 頁]
決算発表	企業が、証券取引所の規定などに従って、四半期決算や通期決算について、記者会見などにより、報道機関、証券会社等に発表すること。重大な問題が生じて決算発表できない場合は決算発表延期といわれる。[106 頁]
業績予想	証券取引所が定める規定により、企業が発表する自社の通期、次期の損益数値に関する予想のこと。[108 頁] 業績見通しともいう。四半期業績予想、通期業績予想、増収・増益予想、減収・減益予想という用語がある。 増収とは売上高（収益総額）が増加すること、減収とは売上高（収益総額）が減少することである。
業績（予想）修正	すでに発表してある業績予想を、新しい情報に基づき、修正すること。また、それを発表すること。 上方修正、下方修正がある。上方修正は、予想業績の向上であり、下方修正は、予想業績の悪化である。
粉飾決算	財務諸表に虚偽表示があること。会計不正、不正会計ともいう。不適切会計という言葉もある。[32 頁]
I R	Investor Relations。企業が資金調達を円滑に行うための活動としての「投資家向けの広報」のこと。[107 頁]
I F R S	International Financial Reporting Standards。「国際財務報告基準」。世界各国が採用する会計ルール。[29 頁]